

7月のブルーベリー農園（東広島市豊栄町）・作業など

7月6日に安芸の郷のある広島市安芸区、安芸郡一円にかけての集中豪雨で河川の決壊、山崩れ、土砂くずれの災害が起きた。安芸の郷の2つ目の建物第2森の工房AMAも後ろの山から大量の土砂、岩、流木が建物と庭に押し寄せた。7月28日森の工房AMAのブルーベリーまつりも中止にし

て復旧作業と利用者の支援の日々が続いている（これらの日々様子は安芸の郷のブログ「アキノサトの日記」に掲載）。安芸の郷にブルーベリーを納品している農園のある場所には、住んでいる船越からは国道2号線、県道375号線を通るのだが、あちこちが寸断された。14日ようやく農園に行くことができ、早速周囲を巡回したが、畑の法面が2~3か所小さく崩れた程度で済んだ。7月23日からは安芸の郷と福富町のしゃくなげファームから摘み取りの研修、ボランティア、友人、知人のみなさんの摘み取りが始まるので農園の環境整備を急いだ。



7月14日。里山のブルーベリー園の草刈りと畑の防草シートを敷く作業を行う。



7月21日の農園から見る青空。豪雨の6日の翌日が梅雨明けでそれから暑い日が続いた。



7月18日。農園の家の前にテント設営、テーブルを組み立て、椅子もおく。



7月28日。
① 安芸の郷のボランティアグループ「フレンドベリー」の皆さんや、農園の友人が摘み取りの援農にお見えになった。一年ぶりの農園訪問。籠を首にかけコンテナをもって摘み取りへ。



② 田んぼからブルーベリーに転作した畑が3段に分かれている。最初に一番下の畑にみんな入ってスタート。



② 青々とした田が広がる。7月21日。



③ 昼休み。畳の部屋で休む人、縁側やたたきで休む人。この日は台風12号の影響で風があり、雲もあってわりと涼しかった。収穫したブルーベリーを安芸の郷に納品できた。安芸の郷では選別した1キロパックの生食ブルーベリーとして主に販売される。



③ ラビットアイ系のブルーベリーの青い実。7月22日



夏の農園周囲の様子。

① 農園の裏庭のホタルブクロ。7月18日



④ 山のブルーベリー園のワイヤーメッシュの間からのぞくヒオウギズイセン。7月28日。

2018年7月31日
社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良